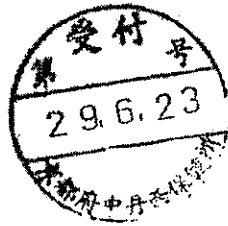


産業廃棄物処理計画書

平成29年6月23日

京都府知事 様
京都府保健所長



提出者

住所 福知山市長田野町1丁目5番地

氏名 扶桑化学工業㈱京都事業所

事業所長 杉田 真一

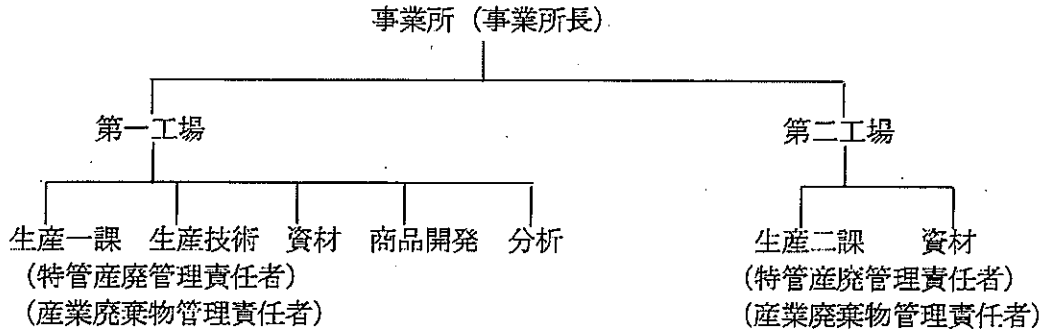
電話番号 0773-27-6925

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	扶桑化学工業㈱京都事業所
事業場の所在地	福知山市長田野町1丁目5番地
計画期間	平成29年4月～平成30年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	16:化学工業
②事業の規模	13,578,161千円
③従業員数	264名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>廃棄物</p> <ul style="list-style-type: none"> ├ 自己再生処理 └ 委託処理 <ul style="list-style-type: none"> ├ 中間処理 再生もしくは燃焼 └ 埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (28 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排 出 量	47,354.8 t	1,367 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工程管理強化により、不良率の低減に取り組んでいる。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	排 出 量	48,000 t	1,000 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 不良率の低減や、生産工程の更なる効率化により、生産増に伴う(計画) 廃棄物の増量を極力抑えていく ・ 汚泥に関しては、肥料化を含めた有価取引の可能性を調査する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃棄物の種類に分けて廃棄している。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 自社で回収・精製できる廃油量を増加させるため、不純物が多い廃油の低減と、廃棄されるものとの分別をより一層取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	46,778 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・廃油の、約98%については、自社で精製し原料としてリサイクルしている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	47,450 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・自社で回収・精製できる廃油量を増加させるため、不純物が多い廃油の低減と、廃棄されるものとの分別をより一層取り組む。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当物なし	該当物なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当物なし	該当物なし
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・該当せず		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全処理委託量	576.8 t	1,367 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	674 t
	再生利用業者への処理委託量	574.8 t	1,096.3 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・廃油の委託率の低減と、可能な限り再生・中和業者への委託 ・汚泥は一部肥料化		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	汚泥
	全処理委託量	550 t	1,400 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	700 t
	再生利用業者への 処理委託量	500 t	1,100 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者への委託を優先的に行う。 ・有価取引が可能になる汚泥不純物の調整を行う。		
※事務処理欄			

(別紙 1 - 1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
② 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	排 出 量	7.5 t	274.6 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工程管理強化により、不良率の低減に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	排 出 量	10 t	280 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 不良率の低減や、生産工程の更なる効率化により、生産増に伴う(計画) 廃棄物の増量を極力抑えていく		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 中和処理の業者に優先的に引取りを行ってもらい、可能な限り焼却処分にならないようにしている。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 工程の改良により、発生量の抑制を行う。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
② 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 処理設備を有しておらず、再生利用は行っていない。		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
② 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 特になし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 特になし		

(別紙1-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・該当せず		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	7.5 t	274.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	7.45 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	241.7 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃アルカリは、不純物低減により、中和処理業者への取引率を増加させた。 ・ 廃酸については、自社消費（PH調整用）出来るようにした。		

(別紙1-4)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
	全処理委託量	10 t	280 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	8 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	8 t	250 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・優良認定業者への委託を優先的に行っていく。		
※事務処理欄			

(別紙2-1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
③ 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	排出量	93.3 t	1.1 t
	(これまでに実施した取組) ・ 工程管理強化により、不良率の低減に取り組んでいる。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	排出量	80 t	1 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 不良率の低減や、生産工程の更なる効率化により、生産増に伴う(計画)廃棄物の増量を極力抑えていく		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類、金属くず、木屑、瓦礫類の分別を徹底している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類は、更に分別を細分化し、種類ごとの分別徹底を行い、再生利用業者と取引を行えるようにする。		

(別紙2-2)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

③ 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

③ 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・特になし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・特になし			

(別紙2-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・該当せず		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	全処理委託量	93.3 t	1.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・減量に努めている。		

(別紙2-4)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃ガラス
	全処理委託量	80 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	80 t	1 t
	再生利用業者への 処理委託量	5 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組) ・廃プラスチックの更なる分別により、再生可能なプラスチックを増加させる。社内分別をより一層取り組む。 ・生産増に伴う増加分を抑制していく。			
※事務処理欄			

(別紙3-1)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
④ 現状	【前年度（28年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	木屑
	排出量	15.3 t
	(これまでに実施した取組) ・工程管理強化により、不良率の低減に取り組んでいる。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	木屑
	排出量	20 t
	(今後実施する予定の取組) ・原料等購入業者に、引き取りを依頼する。	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木屑として、完全に分別し専門業者に引き取りをしてもらっている。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状の計画を維持しながら、可能であれば有価取引に変更する。	

(別紙3-2)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
④ 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
④ 現状	【前年度（ 28 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・特になし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当せず		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・該当せず		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
② 現状	【前年度（28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	全処理委託量	15.3 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	15.3 t	t
	再生利用業者への処理委託量	15.3 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) ・優良業者への委託を優先している。		

(別紙3-4)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	全処理委託量	20 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	20 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	20 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者へ100%委託する。		
※事務処理欄			